

## 高知県灰方川で採集されたアカメ

高橋弘明<sup>1</sup>

<sup>1</sup>株式会社 相愛



写真1 *Lates japonicus* Katayama and Taki, 1984 アカメ (BSKU131593)

### 種の記録

Latidae アカメ科

*Lates japonicus* Katayama and Taki, 1984

アカメ(写真1)

標本 高知大学理工学部海洋生物学研究室魚類標本(BSKU131593)

採集年月日:2022年10月5日. 採集場所:高知県須崎市浦ノ内 灰方川河口. 採集方法:タモ網. 全長121.3mm, 標準体長96.3mm

### 種の特徴

体は側扁し, 吻は尖り下顎は上顎より突出する. 前鰓蓋骨下縁に棘がある. 側線は尾鰭後端付近に達し, 臀鰭第2棘は第3棘より長い. 体色は暗褐色で頭部から体側, 不對鰭の周縁部に黄色味を帯びた雲状斑が分布する. 背鰭8棘11軟条, 臀鰭3棘8軟条. 胸鰭15軟条, 腹鰭1棘5軟条. 側線有孔鱗数63.

### 備考

分類体系は波戸岡(2013)に準拠した. 本種は静岡県浜名湖以南の太平洋側, 大阪湾, 香川県および種子島の沿岸や河口域に生息する(波戸岡, 2013). 高知県は宮崎県と共に主要な分布域として知られ, 浦ノ内湾からも全長20–76cmの個体が釣りや籠網により記録されている(町田・丸林, 2016; 長野, 2016). 灰方川から高橋(1995)は9目19科44種の魚類を報

告しているが, 本種は初記録であり, 浦ノ内湾とその流入河川から記録された最小個体となる. この個体は, 河口に厚く堆積した落ち葉溜りの中から採集され, 一般的な同サイズの個体に比べ, 体色が黒っぽく, 体側の雲状斑や吻端から背鰭にかけての正中線上を走る乳白色の帯が不明瞭な点が特異である.

### 引用文献

波戸岡清峰. 2013. アカメ科. 中坊徹次(編), 日本産魚類検索 全種の同定 第三版. 東海大学出版会, 東京. 743, 1956.

町田吉彦・丸林友文. 2016. 高知市桂浜水族館に寄贈されたアカメの記録(スズキ目:アカメ科). 四国自然史科学研究, 9:12–14.

長野博光. 2016. 高知県における釣り人と漁業者によるアカメの記録(スズキ目:アカメ科). 四国自然史科学研究, 9:21–27.

高橋弘明. 1995. 浦ノ内湾流入河川, 灰方川の魚類. 南予生物, 8(1・2):4–10.

(2022年10月14日受理, 2022年10月14日公開)

連絡先:高橋弘明(e-mail: h.takahashi@soai-net.co.jp)

(Hiroaki Takahashi. 2022. Record of *Lates japonicus* from Haigatagawa River in Kochi Prefecture. NS Fieldnote, 22015)